



# 市民病院がジェイミップの認証を取得！ ～国籍を問わず良質な医療を提供し、多文化共生を目指します～

国際化社会を迎えた今日、日本在住の外国の方々、日本を訪れる外国の方々を受け入れる医療機関の体制設備が求められています。当院は「国籍を問わず良質な医療を提供すること」を目指し、国際化に取り組んできました。

この度、一般財団法人日本医療教育財団による外国人患者受入れ医療機関認証制度(JMIP)の審査を受審し、9月21日付けで正式に認証を取得しました。国際医療支援室を設置し専従の職員を採用したことや、英語・その他の言語への創意工夫した対応、外国語対応・宗教等への配慮ができるかかりつけ医を紹介するといった取り組みが高く評価され、安心・安全な医療サービスを提供できる病院として認証されました。横浜市内4番目、神奈川県内6番目の認証取得になります。今後も外国人患者さんへの満足度調査や現場への要望を踏まえながら、引き続き誰もが安心して受診できる病院を目指します。



認証書

## 外国人患者受入れ医療機関 認証制度(JMIP)とは



本認証制度では、日本国内の医療機関に対し、多言語による診療案内や、異文化・宗教に配慮した対応など、外国人患者の受入れに資する体制を第三者的に評価することを通じて、国内の医療機関を受診するすべての外国人に、安心・安全な医療サービスを提供できる体制づくりを支援します。(一般財団法人日本医療教育財団ホームページより引用)



医療コーディネーター(英語・中国語話者)

NEXT PARK HOSPITAL 次号 Vol.34 は

あなたの心臓を守る  
心臓血管センター特集 **COMING SOON**  
※内容は異なる場合があります。

横浜市立市民病院

診療  
受付

月曜日から金曜日

(土曜日、日曜日、祝日及び年末年始は休診)

- 初診の方 午前8:00～11:00 (診療開始8:45)
- 再診の方 午前7:30～11:00 (診療開始8:45)



救命救急センターへの受入について

- 平日日中 原則、救急車で搬送された患者さんのみ受入れを行っています。
- 夜間・休日 必ずお電話にて連絡の上ご来院ください。

※市民病院は原則、初診紹介制となっております。他の医療機関からの紹介状をお持ちください。  
〒221-0855 横浜市神奈川区三ツ沢西町1-1 ☎045-316-4580 (代)

編集・発行:横浜市立市民病院 編集協力:モンタナセブンピクチャーズ 発行日:2021年10月 無断転載禁止

# PARK HOSPITAL

安心と  
つながりの拠点

YOKOHAMA MUNICIPAL  
CITIZEN'S HOSPITAL

2021

October

TAKE FREE

Vol. 33

横浜市立市民病院 広報誌 [パークホスピタル]



特集

早期発見から社会復帰まで！患者さんを丸ごと支える

「前立腺・膀胱センター」

はじめませんか 予防医療

「フレイルロコモ骨粗鬆症検診」



横浜市立市民病院

特集 早期発見から社会復帰まで！患者さんを丸ごと支える

# 「前立腺・膀胱センター」

2021年10月、市民病院は、前立腺や膀胱に関連する疾患を抱える患者さんを包括的に支援する「前立腺・膀胱センター」を開設しました。センターを代表して泌尿器科長の太田純一医師と放射線治療科長の小田切一将医師に、当センターに込めた思いを語ってもらいます。

## 01 前立腺・膀胱センターを開設した狙いを教えてください。

太田：当院は、予防医療センターを開設して人間ドックや各種検診に力を入れるほか、ロボット支援手術など最新技術の導入にも進んで取り組んできました。そうした強みを生かしつつ、前立腺・膀胱疾患の早期発見・早期治療から社会復帰まで、切れ目のない最適な医療を提供することが当センター設立の狙いです。従来以上にチーム医療を強化することで、前立腺がんや膀胱がんをはじめとする関連疾患に立ち向かう患者さんを、包括的にサポートしていきます。

## 02 当センターが誕生したことで、どんな変化がもたらされるでしょうか。

小田切：より多くの職種が、より早期から介入しやすくなります。例えば、従来は主治医がある程度の治療方針を定めてから、放射線治療のオーダーを出す流れが一般的でした。今後は、診断がついた時点から放射線治療科などもカンファレンスに参加し、治療方針の根本的な部分から議論を交わしていきます。特にがんの治療法は多岐にわたり、方法ごとにメリット／デメリットもさまざまなので、とても意義深い取り組みだと思います。

## 03 医師や看護師以外にも、たくさんの職種が当センターに関わっていますね。

太田：医師が行う治療が注目されがちですが、患者さん



が必要としていることはもっと幅広いはず。例えば、抗がん剤治療で味覚が変化したり、食欲が落ちたりしたとき、栄養状態を保ちつつ治療を続けるためには栄養部の力が欠かせません。また、前立腺を全摘した場合などに課題となる排尿障害について、術前からリハビリテーション科と連携することで早期に準備ができます。他にも、治療前から患者さんを各種相談支援につなげ、社会復帰に至るまで支えています。

小田切：治療が長期にわたる場合、患者さんの離職につながらない配慮も大切です。これには医療技術の進歩が貢献できる部分も大きく、例えば現在では定位放射線治療で照射回数を格段に減らし、身体の負担や来院回数を抑えることができるようになっています。

## 04 最後に、患者さんへのメッセージをお願いします。

小田切：新しく開設された当センターが、多職種一丸となったチーム医療の舞台となります。これまで以上に良い医療を提供できる環境が整ったので、ぜひ安心してお任せください。

太田：高度な治療はもちろんのこと、専門家たちが多方面から患者さんに視線を注ぎ、全人的なサポートを目指します。患者さんを力強く支える前立腺・膀胱センターにご期待ください。

## センター内での連携

実際、どのような流れで早期発見から治療、社会復帰のサポートまでを行うのかをご紹介します。



# はじめませんか 予防医療 フレイルロコモ骨粗鬆症検診

足がもつれてヒヤッとした、膝や腰に不安を感じて外出が億劫に、ということはありませんか？ 要支援・要介護になる原因の多くが、筋肉や骨格の障害です。当院では、フレイルロコモ骨粗鬆症検診を実施します。この検診では骨折リスクや運動機能を検査し、その結果に基づき栄養指導や運動指導を行います。

## こんな症状、ありませんか？

質問項目	回答	
階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	0:はい	1:いいえ
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ちあがっていますか	0:はい	1:いいえ
15分くらい続けて歩いていますか	0:はい	1:いいえ
この1年間に転んだことがありますか	1:はい	0:いいえ
転倒に対する不安は大きいですか	1:はい	0:いいえ
6ヵ月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか	1:はい	0:いいえ
週に1回以上は外出していますか	0:はい	1:いいえ
昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1:はい	0:いいえ

(以上 基本入力チェックリストより)

**「1」を選んだ項目がある場合は、支援が必要になる可能性があります。**  
この機会にぜひ、検診の受診をご検討ください。

## 検診の料金、予約方法

事前に電話でお申込みください。予約された方には、「検診のご案内」など必要書類を約1週間前に郵送します。

**予約専用電話 045-316-6526**  
受付時間 午前9時～午後5時(土・日・祝祭日・年末年始を除く) **検診料金 39,600円**

**当院は新型コロナウイルス感染症予防対策を行っています**

各受付カウンターにはアクリル板を設置。  
スタッフ全員のマスク着用と検温の実施を義務化しています。  
貸出用のボールペンや手が触れやすいカウンターなど、定期的に消毒を行っています。





## column フレイルロコモ骨粗鬆症検診について

2019年の厚生労働省の統計によると、日本人の平均寿命は男性81.4歳、女性87.5歳であり、日本は世界に先がけて、高齢化社会を迎えています。平均寿命が延びた現在、問題となっているのは健康寿命です。

2000年にWHO(世界保健機関)が健康寿命を提唱して以来、寿命を延ばすだけでなく、いかに健康に生活できる期間を延ばすかに関心が高まっています。健康寿命は「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」と定義されており、これを延ばす上で最も重要なことは、フレイル、ロコモと骨粗鬆症による骨折を予防することです。

当院ではフレイルロコモ骨粗鬆症検診を開始します。検診では普段、診療所や病院において保険診療では行えない検査をして、皆さまの個々のフレイル、ロコモ、骨粗鬆症の程度を数値でお示しできます。個々の数値を示すことにより、一般的な予防や治療ではなく、それぞれの個人に合った



副病院長・整形外科部長 **中澤 明尋**  
AKIHIRO NAKAZAWA

オーダーメイドな予防方法や治療方法を提案できます。本検診の特徴は検診結果をお知らせするだけではなく、日本整形外科学会専門医、看護師、理学療法士、管理栄養士が治療法、生活習慣、運動療法、食事療法を指導することです。皆さま、ぜひこの検診を受けていただき、ご自身の健康寿命を延ばすきっかけにいただければと思います。

### フレイルとは？

Frailtyの日本語訳で、日本老年学会が提唱している用語です。加齢に伴うさまざまな臓器機能変化や予備能力低下により、外的なストレスに対して体の抵抗力が弱くなった状態のことを指します。フレイルは身体的なもの、精神的なもの及び社会的のものに分かれます。フレイルは適切な介入により、再び健全な状態に戻りうる可能性があり、早期発見・早期介入が必要です。



### ロコモとは？

日本整形外科学会は、運動器の障害による移動機能の低下した状態を表す新しい言葉として『ロコモティブシンドローム(ロコモ)』を提唱しています。運動器の障害は50歳以上に多発し、ロコモと身体的フレイルはほぼ同義語です。

### 骨粗鬆症とは？

骨粗鬆症とは、閉経後の女性及び75歳以上の高齢者の骨強度が低下し、骨折を起こしやすくなった状態を指します。高齢者が骨折を起こすと移動機能や筋活動量が低下し、慢性疾患の罹患率を上げ死亡率を高めます。



PICK UP NEWS

# アーカイブ配信中！ メディカルワークショップ

オンライン

当院では7月末に、小中学生を対象とした  
自宅で医療を楽しく学べるワークショップを、オンラインで開催しました。  
好評につき、現在アーカイブ配信を行っております。ぜひご覧ください。

## 01 誰でもできるケガの応急処置

ケガをした時の応急処置を自宅  
にあるもので  
実践します。



▲動画はこちら



足の下から添え木になるようにあてる

## 02 外科の基本を学ぼう

外科医の基本である  
手の洗い方と、  
手術の際の糸結びの  
やり方を体験します。



▲動画はこちら



## 03 聴診器を使って心臓の音を聞いてみよう

身近なものを使って聴診器を  
作り、その仕組みを  
学びます。



▲動画はこちら



## 04 体験・体感！ロボット手術

内視鏡手術の仕組みを、簡単な  
装置を作って  
体験します。



▲動画はこちら



※いずれも事前の準備が必要です。詳しくは病院HPをご確認ください。



MEDICAL COOPERATION

## 患者総合サポートセンター 登録医療機関をご紹介します

### 福澤クリニック (神奈川県)

【診療科目】内科・在宅医療・外科・小児科・胃腸内科・肛門外科・皮膚科

福澤クリニックは、横浜市営地下鉄「片倉町」駅下車 三ツ沢方向に徒歩8分のところにある、外来診療から在宅医療までを一貫して担うクリニックです。小児から高齢者までを対象に、内科・外科各々を専門とする専門医が在籍しています。(皮膚科専門外来もあります。)クリニックの看板は芝生のような素材でほっこりするような見た目、院内は白を基調とした綺麗で明るい印象にリニュー

アルいたしました。がん・認知症の方をはじめ、外来に通うことが難しい方には訪問診療を行っており、患者さんやご家族と不安なことをお話しし必要な支援を行っております。健康診断・予防接種・各種検査に関しては、詳細をクリニックのホームページでご確認ください。地域に密着したホームドクターとして、皆様の健康をサポートいたします！

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
15:00~18:30	○	○	○	○	○	-
15:00~18:00	皮膚科	皮膚科	皮膚科	皮膚科	皮膚科	-



福澤邦康院長

【休診日】土曜日午後、日曜日、祝日

〒221-0865 横浜市神奈川区片倉1-9-3 まるあビル1F TEL:045-488-5122 URL:http://fukuzawacl.com/

### まつしま内科クリニック (神奈川県)

【診療科目】内科・小児科・消化器科・心療内科・健康診断(経鼻内視鏡による胃の検査)

当院が開業したのは2001年12月でした。昔『2001年宇宙の旅』という映画がありました。それに感化されて2001年になったわけではありません。それまで内科医として勤務しておりました済生会神奈川県病院は、当時一次救急から受け入れており当直の夜は一睡もできない時がよくあり、脳外科の先生と一緒に日は救急車のサイレンが『ノーゲーノーゲー』と聞こえるようでした。地域医療という観点から

まずは患者さんの話を聞くという姿勢で始め、20年経った今でもその気持ちに変わりはありません。ここまで来られたのもスタッフのおかげだと思います。今後COVID-19の感染がなくなることはないでしょうから不安感を抱えて連絡してくる患者さんが話をする受付事務、診察後の看護師の対応が大事になります。院長としてそういうところにも気配りができるように診療をすすめていきたいと思います。

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:30	○	○	○	-	○	○
15:00~19:00	○	○	○	-	○	-



松島和院長(中央)とスタッフの方々

【休診日】木曜日、土曜日午後、日曜日、祝日

〒221-0822 横浜市神奈川区西神奈川1-5-2 ナイスアーバン東神奈川1階 TEL:045-324-3480

URL:http://www.5d.biglobe.ne.jp/~kazu2001/